

令和 2年度 基本事業評価シート（令和元年度実績評価）

政策 07 信頼に応える行政運営
施策 01 適正な行財政運営の推進
基本事業 04 適正課税と収納率の向上
主管課： 納税課
関係課： 税務課

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市税	意図（どのような状態にしたいのか） 適正な課税を行い、収納率の向上を図る。
------------------------	--

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

課税額（調定額）（年間）（百万円） 税務課					
基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
11,393.00	11,984.00	12,139.00	11,856.00		12,190.00
向上指針	上がると良い	（状況）前年の指標値と比較し、155百万円（1.3％）の増額となりました。 （原因）法人市民税は、市内大口企業などの法人税割が減少（82百万減）しましたが、人口増に伴う納税義務者数が増加（784人増）し、個人市民税は125百万円（2.6％増）増加しました。固定資産税は、一般住宅等家屋棟数が増加（387棟増（うち7件増築））し、全体で88百万円増額（1.8％増）しました。なお、課税額の成果指標となっておりますが、その原因が景気の動向等に左右されるため、次年度の課題としません。			
対前年度	向上				
目標達成度	高				
次年度課題	課題としない				

収納率（年間）（％） 納税課					
基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
97.00	98.40	98.70	98.70		97.30
向上指針	上がると良い	（状況）前年の指標値と比較し、0.3ポイント伸び、目標値を達成しています。また、収納率は県内で高い水準（44市町村中7位）にあります。 （原因）電話による催告とともに、文書による催告書の送付を年3回実施し、滞納者を増やさないよう努めています。また、少額の分割納付を見直すとともに、預貯金や給与等の債権差押えを積極的に実施し、高額滞納案件の早期解消に努めています。			
対前年度	向上				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	287,040	136,663	139,783	133,005	125,269
人件費	74,029	177,516	132,674	0	0
トータルコスト	361,069	314,179	272,457	133,005	125,269

4 基本事業の推進状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

課税額については、人口増に伴い納税義務者が増加したため、個人市民税及び固定資産税は増加しましたが、市内大手企業の法人税割が減少したため、法人市民税は減少しました。また、口座振替の推進及び滞納整理、継続債権の差し押さえなどの滞納処分の強化により収納率が向上し、税収を確保することができました。なお、コロナ渦の影響による課税額の減少や収納率の下落を最小限に抑えられるよう、今後も適正な課税を行い、より一層の納税相談業務の強化を図り、税収の確保に努めます。	推進状況	順調
	次年度への課題	課題なし
	成果方向性	維持
	コスト方向性	維持

5 基本事業を構成する事務事業の評価

[illegible]